

電磁波吸収テープ NRF-005T の導入(4)(HP 収載)

－仮想アースへの適用(4)－

1. 始めに

前方(3)に引き続き、旭化成の Pulshut を応用したオヤイデの電磁波吸収テープ NRF-005T の仮想アースへの適用を検討します。

2. 電磁波吸収テープ NRF-005T の試聴方法

今回は、RCA 入出力端子に使用するショートピンに NRF-005T を貼りつけてみます。このものを仮想アース 12 号機とします。



Lux RCA ショートピン JCT-10

同左 NRF-005T 貼りつけ

これまで、下記の機器のRCA入出力端子に仮想アース接続用ケーブルClone2R経由でCrystal EないしはCrystal Epや自作仮想アースを接続してきました。

仮想アース Crystal E の導入(5) Maranz7 タイププリ

仮想アース Crystal E の導入(16) Maranz SA11-S2

仮想アース Crystal E の導入(17) ExPro SV-1

仮想アース Crystal E の導入(25) TASCAM DA-3000

仮想アース Crystal E の導入(33) DMR-UBZ1 & Sonica DAC

今回は、上記の NRF-005T 貼りつけ Lux RCA ショートピン JCT-10 の効果を調べるわけです。

適用箇所としては、上記箇所から、抜き差しがやりやすい TASCAM DA-3000 を選び、PC による BPODCH 再生とハイレゾファイル音源再生を行います。

3. 電磁波吸収テープ NRF-005T の試聴結果

DA-3000にはRCA入力端子に仮想アース接続用ケーブル経由で自作の仮想アース3号機と6B号機を接続していますので、いったん、このケーブルを抜きます。そしてRCA入力端子のショートピンなしで聴いておき、次いでNRF-005T貼りつけショートピンを差し込んで聴いていきます。

PC 経由の BPODCH の再生のマーラーの 3 番では、ショートピンなしの状態でも、前報(3)で述べましたように PC とスイッチングハブに自作の仮想アースを、DA-3000 にアナログ信号を送り出す Sonica DAC に Crystal EpY を接続していますので、十分に満足できるレベルに達していますが、NRF-005T 貼りつけショートピンを差し込みますと、顕著とは言えませんが、オーケストラの音の分離が向上し、特に大ホールに響く低音がクリアーになります。

リストのピアノ協奏曲 1 番では、同様に NRF-005T 貼りつけショートピンを差し込みますと、顕著とは言えませんが、オーケストラの音の分離が向上し、特にピアノの左手の低音がクリアーになります。

PC の TEAC Hi-Res Editor によるハイレゾファイル音源再生では、菊池洋子のバッハの Goldberg 変奏曲の Live Extreme による配信からの 5.6MHzDSD 録音と小川理子の 78 回転盤 Jazz の TohrensTD124 の再生からの 5.6MHzDSD 録音を再生してみました。

クラシックピアノとジャズピアノに演奏ですが、ともに顕著ではありませんが、ピアノのアタック感が強まり、余韻との分離が分かりやすくなります。小川理子の方では、ベースの弾みやドラムスの切れ込みも変わってきます。

以上、DA-3000 の RCA 入力端子に NRF-005T 貼りつけショートピンを差し込みますと、若干の効果を認めましたので、このまま L チャンネル端子に残し、R チャンネル端子には元の仮想アース接続用ケーブル経由で自作の仮想アース 3 号機と 6B 号機を接続します。



この条件でハイレゾファイル音源再生の再生を行っていましたが、ショートピンと自作の仮想アースが相加的に働いていることが分かりました。

4. まとめ

DA-3000 の RCA 入力端子に NRF-005T 貼りつけショートピンを差し込みますと、顕著とは言えませんが、効果を認めました。

以上